

ひまわり

札幌市立幌北小学校ひまわり分校
札幌市立北辰中学校ひまわり分校
学校だより

令和5年9月19日
第20号

ALT の授業がありました！

分校に来ていただいている ALT の方が Hunter Strickland 先生（アメリカの方です。）に変わりました。今回、分校の子どもたちと初対面です。子どもたちは、自己紹介を考えて英語で話しました。Hunter 先生が、分校で初めての授業ということもあり、アメリカの文化のから先住民族の話まで広い分野にわたって教えてくれました。また、Hunter 先生が日本を旅行したときのことを、できるだけ英語を使って話しました。（中学校のときは、ほとんどが英語だけでした。）学年に応じながら、子どもたちが外国語の授業を楽しめるように英語を使ったコミュニケーションを取っていただけました。分校には、月に 1 回、ALT の方が来ていただけます。来月、Hunter 先生にお会いできるが楽しみです。



中学校の授業場面から

中学校の音楽の授業場面です。今回は「鑑賞」の授業でした。授業で聴いている曲は「ボレロ」（ラヴェル作曲…フランス）です。今回は、オーケストラの演奏の様子や聞いている観客の様子も交えた映像を観ながら鑑賞をしました。

映像の構成も工夫されていました。映像を見る人に、クラシック音楽は堅苦しい音楽ではなく、リラックスしながら自由に聴くことができることを感じ取ってほしいというねらいもあります。また、曲の中で、様々な楽器の音加わるたびにオーケストラの奏者の姿が映りますので「この音は、この楽器だ。」とも分かりやすいです。「目でも音楽を聴く。」という授業場面でした。映像を活用した鑑賞は、オペラや能、歌舞伎などの授業場面、雅楽といった日本の楽器の学習場面でも行われているとのことでした。



小学校の授業場面から

小学校の社会科の学習です。このお便りを読んでいただいている方々で、縄文時代や弥生時代を歴史の学習の最初の方で学習したことを覚えている人がいるかもしれません。実は、縄文時代は 1 万年以上続いた、今まで一番長い時代なんです。縄文時代が長く続いた理由を 1 つ取り上げるとすれば、「人と人の争いごとがなかった。」ことが大きな理由として考えられます。これは自然が豊かだった時代に、縄文人が、食料を食べる分だけ狩りをしたり、採取したりしていたので、奪い合うといった争いごとが穏やかな暮らしが続いたためだとされています。

弥生時代に入ると稲作が始まりました。米を蓄える人が出てきたことや定住による水の権利や土地の権利を主張する人間が出てきたことから争いごとが始まったとされています。



関連して ちょこっと豆知識！

北海道にも縄文時代から人が住んでいて、縄文時代の遺跡が約七千あるといわれています。それぞれの遺跡で発掘される縄文土器を観察してみると、函館を中心とする道南エリアとオホーツク海沿岸や釧路周辺を中心とする道東エリアに分かれます。中でも有名なものが、2021 年 7 月にユネスコ世界文化遺産に登録された、埴ノ島遺跡（函館市）、北黄金貝塚（伊達市）、大船遺跡（函館市）、入江貝塚（洞爺湖町）、キウス周堤墓群（千歳市）、高砂貝塚（洞爺湖町）の 6 つの遺跡がその構成資産として登録されています。（道南地方が多いです。すごいですね。）

